

巻 頭 言

国士舘大学 政経学部長 岩 元 浩 一

国士舘大学政経学部は、昭和 36 年に創設されて以来、本年令和 3 年に学部創設 60 周年を迎えることとなりました。この大きな節目に当たり、まずは今日に至るまで政経学部の発展にご尽力いただいた教職員の皆様方、卒業生・在学生の皆様方、さらには関係各位の皆様方に、改めまして深く感謝の意を表します。

政経学部は当初政治学科と経済学科の二学科でスタートしましたが、その 1 年後に経営学科が創設され、長きに渡り三学科体制で参りました。その後平成 23 年に経営学科が学部化し二学科体制となり、平成 28 年には政治学科が政治行政学科に名称変更し今日に至っています。

この間政経学会では、研究会や論文投稿を毎年欠かすことなく実施し、政経学部の先生方の研究教育活動を支援して参りました。とりわけ『政経論叢』が研究発表の場として果たしてきた役割は、大きなものであったと言えます。そうした中、この度 60 周年の記念事業の一環として、記念論文集を発行するに至ったことは、望外の喜びであります。記念論文集では、国士舘大学として新たに取り組んでいる「防災」を共通テーマとしました。

政経学部創設 50 周年にあたる平成 23 年の東日本大震災以降、わが国では防災に対する意識の高まりが顕著となり、国や地方自治体の防災対策だけでは不十分であることが周知されるようになりました。個々人におきましても防災対策や防災教育を説いていくことが求められるようになり、本学も早期に防災教育に係る研究活動に取り組んできたところであります。ここ 2 年に渡るコロナ禍での対応におきましても、正に防災教育が求められています。こうした点を踏まえまして本記念論文集のテーマを決定いたしました。学術

巻 頭 言

論文としてそれぞれの専門分野からの考察・分析を、「防災」と関連付けるには容易ではない面もあったかと思われますが、多くの先生方がこれを成し遂げて下さったことに敬意を表する次第です。

政経学部が次の10年に向かって発展して行く上で、また、より専門性を高めて行く上で『政経論叢』の存在はなくてはならないものとなっています。学生への知識や教養の還元ということを鑑みましても、『政経論叢』の果たす役割は極めて大きなものがあります。本記念論文集がその一助となることを願っております。

最後になりましたが、本記念論文集の刊行に当たり、ご支援を賜りました国土舘大学ならびに多くの関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

令和3年11月18日